



静岡労働局発表  
平成30年3月8日

【担当】 静岡労働局 労働基準部健康安全課  
主任産業安全専門官 小長谷幸弘  
課長 補佐 芹澤 孝行  
(電話) 054-254-6314

## 死亡労災事故が再び急増 多発警戒を再度発令！

～平成30年に入ってから、死亡者数は9人、内8人は60歳以上の高年齢労働者～  
(今年も、昨年同期比で4人上回る)

- ・ 静岡県内では、昨年10月以降、労災死亡事故が増加し、12月14日に「労災死亡事故多発警戒中」の看板を年始まで設置し、労災防止を呼びかけました。平成30年に入り、1月は死亡者数が1人であったところですが、今年2月に入って再び死亡災害が急増しています。
- ・ 静岡労働局（高森 洋志 局長）では、2月28日（死亡災害が1か月以内に5人目が発生した日）以降、「労災死亡事故多発警戒中」の看板を設置し、全業種を対象に各種指導を強化する等、尚一層の労災防止を推進しています。

- ・ 警戒期間中は災害発生業種に対して各種指導を強化します。
- ・ 県内9ヶ所の労働局、監督署等に立看板を設置し事業者对各种指導による呼び掛け、静岡労働局HPに掲載する等、災害防止意識の一層の喚起に努めます。



○ 2月9日（金）から3月5日（月）までの死亡災害

2月9日：軽トラックで灯油の配達を行っていたところ、乗用車と正面衝突した。（小売業）

2月17日：トラックキャビンの清掃中にキャビンの屋根から転落した。（道路貨物運送業）

2月25日：原動機付自転車で新聞配達を行っていたところ、対向車と正面衝突した。（小売業）

2月27日：トラックのタイヤが破裂し、消火活動中の運転手が死亡した。（道路貨物運送業）

2月28日：1階から2階へ上昇中、リフトの手すりと2階の床面の間にはさまれた。（小売業）

3月2日：屋根の修繕作業中に塩ビ材を踏み抜き、5 m下へ墜落した。（土木工事業）

3月5日：自衛隊演習場の管理作業を行っていた作業員2名が、敷地内の調整池で発見された。

（ビルメンテナンス業）

※平成30年の死亡災害の被災者は、60歳以上の高年齢労働者が9人中8人を占めている。

※経験年数20年以上の熟練労働者が5割を占めています。

労働力が高齢化している中での高年齢労働者の死亡災害が多発していることから、高年齢労働者に配慮した職場改善等の対策が必要です。

